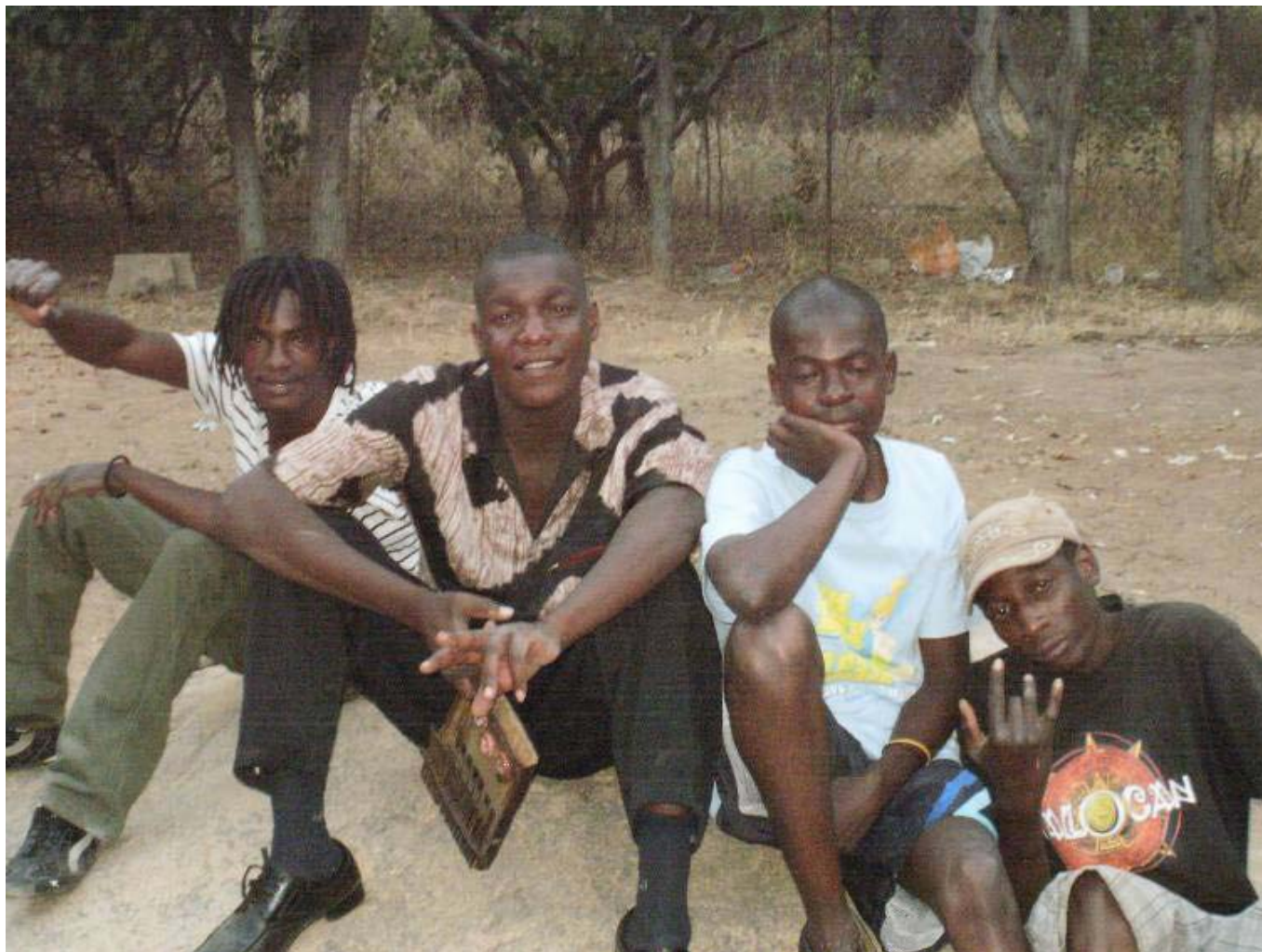




Zimbabweのコンテナボーイズ
彼らの暮らしと捨てない夢

コンテナボーイズとは

彼らはジンバブエでコンテナボーイズと呼ばれている人たち。
コンテナやコンテナのような小さな家屋に住んでいる。

三男
トゥワンダ

二男
タピワ

長男
マシュー

コンテナの
オーナー

彼らの家
(コンテナ)



家(コンテナ)の中

彼ら3兄弟は2畳ほどの広さに3人で住んでいる。
このような家でも借家であり、月40ドルの家賃がかかる。
窓がなく夜は非常に厳しい寒さに耐えなければならない。
水道もおっていない。



トイレの便器はあるが水
は流れない



仕事

彼らの仕事は街に出て駐車している車を見つけて番をする事。定職に就くことはできていない。車の番では朝8時から夜5時まで働いて5ドルしかもらえない。

3男のトゥワンダはビーズ細工を作っているが、ジンバブエは首相の反白人感情も手伝い観光客が少なく、更に露店を開くのにライセンスが必要(そのライセンスが高額)なため、技能があるのに商品が売ることができていない。



食事



食事はそこらに落ちている小枝を拾って火を起こす。一食3ドルほどかかる。
ジンバブエの主食は
サザというトウモロコシの粉を水で練ったもの



トマトを干したもの

サザ

彼らの楽しみ

彼らは音楽が好き。
ジンバブエの伝統楽器“ムビラ”は
親から習い誰もが演奏できる。



夢

3男のトゥワンダは音楽が特に大好き。23曲のレパートリーを持っており、夢はミュージシャンとビーズ細工のアーティスト。

ただ、ジンバブエの大統領の独裁政治による情勢不安定からくる高い失業率、急激なインフレ、などミュージシャンやアーティストになるチャンスはジンバブエにはないと語る。

そんな中でもなんとかチャンスを掴みたいと希望を捨てずに毎晩彼はバーに通い、音楽、歌を愛することをやめない。
(映像はショナ語の歌)

